

“ちいさな企業” 成長本部（沖縄県那覇市）

議事概要

- ・日時：7月16日（火）9：00～10：15
- ・場所：クラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー 白鳳の間
- ・「“ちいさな企業” 成長本部」行動計画等に関する取組をご紹介いただくとともに、意見交換を行った。
- ・参加者からの主なご発言は以下のとおり。

<中小企業・小規模事業者>

- 個人事業主や中小企業は先の見えない苦しさを感じているので、地域でイベントを行うなど、消費マインドや設備投資等を促進するような工夫をしている。また、今後は観光とITに力を入れていきたいと思っている。官民ともに行動計画に則って、1つでも良いモデルが出来るよう協力していくことが重要。
- 成長本部に参加し、支援機関からアドバイスを聞いて、試作開発の補助金を頂戴し、機械の開発をすると共に、人材育成にも取り組んだ。これにより、雇用も生まれ、開発・人材育成・スキルアップ等の競争が生まれ、チャンスが来たと非常に期待している。
- 補助金を活用し、海外展示会も行い成功している方だと思われるが、補助金を貰って生き残っている会社がどれだけあるのかということも考えていただきたい。
- 芸能や音楽など、街のブランドができるのではないかと考えている。現在、音楽を通して、台湾との音楽・文化交流も行っており、地域特性を活かしながら、今後はビジネス交流へと繋げていきたい。
- 日本は性能を向上させていくことに注目しすぎており、カルチャー、デザイン、アートといった感性分野を含めたブランド化ができていない。そうすると海外で負けてしまう。これらを連動させながら、活動をやっていく方が重要である。
- 女性及び創業の支援が行動計画に入っており、良いと思うが、新しい事業展開をする上で、生活者視点をもった女性社員の即戦力が重要になる。行動計画の中で、その点が物足りないと感じる。

<支援機関等>

○個々の組織で支援のスキルを磨いていくのは厳しいため、地域の勉強会などを活用し、強化したい。

○補助金等の申請する書面などが簡素化された反面、書類を見て、事業計画があまりにも簡単すぎて、本当に事業が成り立つのかという不安もある。事業計画の大切さを分かっていない企業が多いので、しっかり指導していきたい。

○今回の行動計画は、非常に素晴らしいが、フォローアップにあたっては、「誰が主体」で「いつまでに」といった視点も必要だと思われる。

○最近のアンケートによれば、沖縄の中小企業の70%は後継者がいない。事業承継に係る税制についても、課題であるため、小規模事業者にとって魅力あるようにして頂きたい。

○事業承継の支援をしているが、まだ問題が表面化していない企業も多いので、今後一層力を入れて支援していきたい。

○行動計画の中に記載されているビジネスインキュベーションについて勉強しているスタッフもいるので、新しい提案が出来ると思っている。支援機関として、応援を頂きながら、基盤を構築していきたい。

○沖縄の経済はいろいろな面で伸びているが規模が小さい。中小企業が作った試作品等を発表する場を提供するなど、沖縄の産業界に貢献させていただいている。

○沖縄県においても中小企業の支援をしており、振興審議会などを行い、県としての計画を策定している。国の計画とも並行して中小企業を支援していきたい。



以上